



左、右下：クリスマスコンサートより

右上：リーダー研修会より

課外活動団体リーダー研修会を終えて

2006年12月2、3日に行なわれた、課外活動団体リーダー研修会は、参加サークルが増えたことと、文・体・芸合同の三系レクリエーションを行ったことが大きな特徴でした。

今回から参加対象に図書館情報大学由来の文化系サークル連合会春日支部のサークルと、体育会医学支部のサークルが加わりました。リーダー研修会というイベントが、より学生に認知されるきっかけになったと思います。また、今回の三系レクリエーションではチーム戦もあり、普段関わることの少ない他系の学生との交流を持つことができましたようです。

講演会は、エン・ジャパン株式会社の入江健一郎さんが、学生同士で意見を交換する時間を多く取って下さったため、活発なディスカッションを行なうことができました。系別会は、三系とも工夫をこらした企画を各系執行部が用意し、それぞれの特色を活かした研修となりました。

研修会中はスケジュールが驚くほどスムーズに進み、新しい試みもある中で成果を残すことができた2日間だったと思います。次回のリーダー研修会に向けては、さらに多くのサークルに参加を呼びかけていく必要があるでしょう。今後のリーダー研修会がより意味深いものになるよう、今年度の反省を次代の実行委員にしっかりと引き継ぎたいと思います。

(寄稿/平成18年度課外活動団体リーダー研修会
実行委員長 藤田あゆみ・人文2年)

芸サ連クリスマスコンサート

2006年12月16日、大学会館ホールで芸術系サークル連合会主催の「クリスマスコンサート2006～Dream in the Artful Night～」のステージ企画が行われた。

ステージ企画には、今年は計16団体が参加し、様々な発表で会場を楽しませた。ブロックフレイテ同好会と人形劇団NEUのコラボレーションでは、縦笛の演奏をBGMに、サンタクロースを題材にした人形劇を演じ、客席からは自然と笑みがこぼれた。最後には全体コラボレーションで、ベートーベンの交響曲第9番『歓喜の歌』を客席と一緒に合唱した。

同イベントでは、11～16日に写真や焼き物の作品を飾った展示企画、11～22日に大学会館周辺でのイルミネーション企画も行なわれた。

(寄稿/芸術系サークル連合会幹事 尾池響平・情報2年)

- 主な内容 -

キャンパスニュース	1～3頁
大学院進学報告	3頁
課外活動団体構成員一覧	4、5頁
学生相談室から	5頁
特集：ようこそつくばへ～筑波大学周辺マップ～	6頁
理事会報告	7頁
サークル・全代会のページ	8～11頁
お知らせ	12頁

キャンパスニュース



紅葉に彩られた並木のなかスタートを切るランナーたち

つくばマラソン

第 26 回つくばマラソンが 2006 年 11 月 26 日に行われ、過去最高の 1 万 1268 人が参加した。当日の天気は曇り、風も穏やかで絶好のマラソン日和だった。沿道の声援に後押しを受けたランナーたちは、紅葉がすすむ筑波山、カエデやイチョウなどの街路樹などを見ながら、晩秋のつくば路を走り抜けた。

フルマラソン男子優勝者は阿部慎一選手（立教大）、フルマラソン女子優勝者は翔ひろ子選手（佐倉市陸協）、10km 男子優勝者は佐藤信之選手（トヨタ紡織）、10km 女子優勝は石井幸枝選手（日立多賀）だった。完走者はフルマラソンの部が 7810 名、10 km の部が 2597 名だった。

（取材 / 全代会広報委員 比嘉慎吾・情報 1 年）



防犯意識について話す鹿志村つくば中央署長

防犯・安全運転講習会

学生や教職員の防犯意識の向上を目的とした「防犯・安全運転講習会（主催、筑波大学セーフティプロジェクト、学生担当教員室）」が 2006 年 12 月 5 日、筑波大学学生会館講堂で開催された。学生や教職員ら約 140 人が参加した。

講習会では、茨城県警つくば中央署の鹿志村一署長が防犯と安全運転について講演した。鹿志村署長は、つくば市内で多い日では、1 日 20 件以上の犯罪が発生、深夜に強制わいせつや住居侵入などの凶悪犯が増えていると指摘。「深夜に一人で行動するのは危険、防犯意識を高めて欲しい」と訴えた。また、増加している交通事故への注意を促した。

このほか、つくば市防犯自警団連絡協議会会長の芳賀脩光名誉教授が、自警団を通じた防犯への取組みについて語った。

大学女子選抜駅伝で品田選手が活躍

筑波大学などを会場として 2007 年 1 月 8 日、第 4 回全日本大学女子選抜駅伝競走（主催：日本学生陸上競技連合、テレビ東京）が開催された。寒空の下、計 6 区間 30.67 km を 20 の大学と選抜チームの選手たちがたすきをつないだ。つくば市での開催は初めてで、大会の運営は筑波大生を含む多くのボランティアが支えた。

筑波大からは関東学連選抜チームのメンバーとして、品田貴恵子選手（体育・1 年）が 2 区を担当した。筑波山からの強い向かい風が吹き付けるなか、品田選手は、3 km を 9 分 53 秒で走る力走で、区間 4 位と健闘した。また、順位を 2 つ上げて 7 位で 3 区の選手につないだ。品田選手は「筑波山からの風が強くて走りにくかった。来年は筑波大学チームとして参加したい」と感想を述べた。

レースは 6 区間のうち、5 区間で区間賞を獲得した立命館大学が 1 時間 40 分 17 秒で優勝し、4 連覇を果たした。品田選手を含む関東学連選抜は 1 時間 45 分 7 秒で 13 位だった。



3 区の選手にたすきを渡す品田選手



相手コートへスパイクを打ち込む筑波大の選手

男子バレーボール部プエルトリコ代表相手に快勝

2006 年 10、11 月にかけて、筑波大学バレーボール部が、プエルトリコ代表と親善試合を行った。10 ~ 12 月に行なわれた「2006 世界バレー」にあわせたもの。

11 月 12 日に行なわれた男子はエースの志賀選手が試合中に故障するハプニングに見舞われたものの、第 1 セットから筑波大のブロックが決まり 2 セットを連取。しかし第 3 セットは徐々にペースを上げたプエルトリコ代表が粘りを見せ、一時ジュースに持込んだ。しかし筑波大が的確なアタックで突き放し、見事 3 - 0 で勝利した。前日に到着したばかりの同代表は時差と移動の疲れがあったようだ。

10 月 28 日の女子代表との対戦では、プエルトリコ女子代表が貫禄をみせ、女子バレーボール部が 0 - 3 で破れた。

（寄稿 / 芸サ連幹事 尾池響平・情報 2 年）



交流会の様子（向かって左が大邱大学の学生たち）

韓国・大邱大学の学生が筑波大を訪問

1月11日、筑波大学の協定校である韓国・大邱大学の学生41人が筑波大学を訪れた。全員が大邱大の学生会に所属しており、訪問目的は筑波大の学生組織との懇談や見学を行うため。中央図書館にて筑波大生との交流の場が設けられた。

筑波大からは全代会や三系の代表など8人の学生が参加。各組織についての説明を行い、通訳を介して大邱大の学生に伝えられた。大邱大の学生からは、「組織の予算はどこから出ているのか」「サークルへの分配はどのように行っているのか」など積極的に質問が寄せられた。言葉の壁はあるものの、学生組織に属するもの同士、お互いを知ることのできる貴重な機会となった。

（寄稿 / 全代会広報委員 古田島知則・生物2年）



開所式でのテープカット

ゆりのき保育所が開業

追越学生宿舍共用棟の1階が改修され、「ゆりのき保育所」として生まれ変わった。学内に保育所がつけられるのは初めてのことで、保育所は筑波大の教職員が対象で、12月1日から営業を開始、現在15人の子どもが通っている。

保育所設置は以前より、筑波大や附属病院の職員から要望が上がっていた。昨年1月に設置が決まり、7月から改修工事が始められた。保育所の内装には筑波大の学生も関わっており、芸術研究科や芸術専門学群の学生が壁の配色や家具のデザインを考えたほか、天井には芸術の授業で制作したモビールも飾られている。

12月1日の開所式では、岩崎学長による祝辞の後、テープカットや施設見学などが行なわれた。

（寄稿 / 全代会広報委員 古田島知則・生物2年）

大学院進学報告

「大学院進学を決めた理由」

体育専門学群 4年 相澤和宏

少し前の話からはじめますが、僕は中学生の頃から環境問題に興味を持つようになりました。そのため高校は地元の進学校ではなく、環境系の授業がある単位制高校に入学し、学校内外でさまざまな環境活動を行いました。それらを通して多くのことを学んだのですが、ある時に確信を得た次のことが、今の僕の居場所を決めていると言っても過言ではありません。「環境問題は『環境』という単一の分野の問題ではない。」つまり、環境問題はあらゆる分野の特徴を活かして取り組むべき問題だということに気付いたのです。

そこで僕はスポーツから環境問題を考えようと思い立ちました。僕は小さい頃、運動が不得意でしたが、中学、高校と体ができてくるにつれ、運動の楽しさを実感するようになったからです。高校では卒業論文にあたる「テーマ研究」があり、僕は中学から続けてきたバドミントンに注目し、シャトルからコルクボードやクッションを作り、スポーツ用品のリサイクルを提案しました。

大学でもスポーツの立場から環境問題を考えたいという思いと、バドミントンをやり遂げたいという思い、そして一人暮らしをして、自分で自分のことをできるようになりたいという3つの思いから、体育専門学群に入学しました。一人暮らしをして、体育会バドミントン部に所属したことで、3つ



のうち2つは達成できたと思います。しかし、肝心の一つ目の「スポーツの立場から環境問題を考える」ということは、スポーツ社会学研究室に所属し、スポーツ環境論に触れたものの、十分に研究できませんでした。そのため、大学院に進学して研究をし直そうと決めました。

挑戦してみたい仕事があったので、このまま就職すべきか悩んだ時期もありました。しかし、今就職しても、社会に何ができるか考えたときに、まだ十分な能力が備わっていないと思いました。中学生の頃から環境問題に携わる仕事をしたいと考えていましたが、今の自分が「環境のために」正しい行動が取れるか自信がありません。環境問題は一元的な考え方で取り組むと逆効果になることや、無意味なものになってしまうこともあります。その見極めができるようになるために、体育研究科へ進学をして研究を続けたいと考えています。

入試は、英語と選択2教科と研究計画書を踏まえた面接でした。英語は過去問をよく見るだけの対策で充分でした。選択2教科は興味のある分野をさらに勉強し直す良い機会となりました。難しかったのは研究計画書です。スポーツと環境問題という部分は決まっているものの、研究方法や具体的な研究対象をどのようにするか直前まで悩み続けました。大学院進学を目指している人には、研究計画書を早い段階で作り始めることをお勧めします。

大学院は、授業数がそれほど多くなく、自分の時間が増えることになると思います。それを有効に使い、大学院生活を有意義なものにしたいと思っています。

課外活動団体構成員数一覽

2007 年 2 月現在

文化系サークル連合会	1年	2年	3年	4年	5年	6年	院他	合計
I.T.C.(International Talking Club)	9	8	9	0	0	0	2	28
アマチュア無線クラブ	5	2	2	4	0	0	2	15
E.S.S.(English Speaking Society)	8	1	4	5	0	0	2	20
池坊華道部	6	4	2	0	0	0	2	14
囲碁部	4	2	3	14	0	0	6	29
宇宙工学研究会	3	2	1	2	0	0	0	8
映画研究部	3	5	4	3	0	0	3	18
SF研究会アルビレオ	2	3	0	4	0	0	2	11
園芸クラブ	13	11	8	7	0	0	2	41
海洋研究会	14	18	19	5	0	0	5	61
歌留多部	3	6	9	4	0	0	3	25
学生ボランティアセンター ピアラ	4	3	2	1	0	0	0	10
現代視覚文化研究会	30	13	0	0	0	0	0	43
茶道同好会	5	3	3	0	0	0	3	14
茶道部和敬清寂社	11	3	8	5	0	0	6	33
山岳旅の会	3	12	0	0	0	0	1	16
児童文学研究会・北	0	3	2	0	0	0	2	7
社会福祉研究会	76	69	54	53	0	0	11	263
手話サークル	15	1	0	0	0	0	0	16
将棋部	4	6	6	1	0	0	8	25
T.A.S.C.(筑波アカデミックシミュレーション同好会)	3	1	4	0	0	0	3	11
筑波大学自動車部	3	2	5	5	0	1	2	18
筑波大鉄研「旅と鉄道の会」	4	7	1	0	0	0	1	13
つくば鳥人間の会	9	6	0	0	0	0	0	15
筑波文学の会	4	2	2	2	0	0	3	13
点字サークル「てんつく」	4	1	1	1	0	0	0	7
天文研究会	25	13	9	8	0	0	7	62
ねっしー・自然教育研究会	11	7	4	7	0	0	1	30
フライヤーズクラブ アイオロス	3	0	1	0	0	0	4	8
法学研究会桐法会	0	10	2	4	0	0	0	16
マジシャンズクラブ	11	7	14	0	0	0	0	32
漫画研究会	8	8	4	0	0	0	0	20
野外活動クラブ	9	8	0	0	0	0	0	17
野生動物研究会	6	6	5	0	0	0	0	17
歴史探訪会	12	3	1	0	0	0	0	16
環境サークル エコレンジャー	3	3	10	0	0	0	1	17
古流華道部	2	3	1	1	0	0	0	7
ストーリーテリング研究会	3	2	4	5	0	0	3	17
文芸部	0	11	6	3	0	0	0	20
写真部さくら組	1	6	3	2	0	0	0	12
TOJO K-ON	7	4	10	3	0	0	4	28
図画団	5	7	0	0	0	0	0	12
ULIS Chorus	0	0	4	0	0	0	0	4

体育会	1年	2年	3年	4年	5年	6年	院他	合計
アーチェリー部	7	2	2	3	0	1	0	15
合気道部	9	6	7	0	0	0	0	22
アイススケート部	4	7	4	5	0	0	3	23
男子アイスホッケー部	5	12	8	0	0	0	0	25
女子アイスホッケー部	2	2	6	0	0	0	0	10
アメリカンフットボール部	23	16	12	0	0	0	0	51
鹿島神流武道部	11	4	6	9	0	0	9	39
空手道部	3	2	4	0	0	0	0	9
弓道部	11	8	7	5	0	0	0	31
剣道部	16	11	14	0	0	0	0	41
硬式庭球部	10	13	12	0	0	0	0	35
硬式野球部	21	29	30	0	0	0	4	84
ゴルフ部	6	4	7	0	0	0	0	17
サイクリング部	9	13	9	7	0	0	4	42
蹴球部	43	52	50	41	0	0	12	198
女子サッカー部	10	5	5	0	0	0	0	20
柔道部	9	12	9	10	0	0	0	40
準硬式野球部	14	10	2	0	0	0	0	26
少林寺拳法部	9	5	13	0	0	0	5	32
水泳部	20	16	22	0	0	0	1	59
スキー部	2	3	1	0	0	0	1	7
漕艇部	4	3	7	4	0	0	1	19
ソフトボール部	6	6	5	3	0	0	3	23
体操部	5	2	4	2	0	0	5	18
体操競技部	5	6	5	5	0	0	0	21
卓球部	8	10	7	10	0	0	6	41
ダンス部	7	6	8	0	0	0	0	21
軟式庭球部	8	11	8	0	0	0	0	27
馬術部	8	2	6	0	0	0	0	16
男子バスケットボール部	13	13	13	0	0	0	0	39
女子バスケットボール部	9	8	5	7	0	0	0	29
バドミントン部	7	3	9	6	2	0	6	33
男子バレーボール部	5	4	3	0	0	0	0	12
女子バレーボール部	6	5	5	0	0	0	2	18
男子ハンドボール部	9	5	9	0	0	0	0	23
女子ハンドボール部	6	5	5	0	0	0	0	16
ヨット部	2	2	1	0	0	0	0	5
ライフセービング部	5	3	4	6	0	0	5	23
ライフル射撃部	10	10	1	2	0	0	0	23
ラグビー部	0	17	17	20	0	0	1	55
陸上競技部	49	48	46	46	1	0	52	242
陸上ホッケー部	6	2	4	1	0	0	0	13
心身統一合気道会	13	20	12	0	0	0	2	47
オリエンテーリング愛好会	5	5	10	3	0	0	0	23
カヌー部	9	2	9	8	0	0	3	31
剣道同好会	13	13	0	0	0	0	0	26
サッカー同好会	21	20	11	7	0	0	0	59
艇友会	2	2	1	0	0	0	0	5
トライアスロンクラブ	8	6	10	7	0	0	10	41
バスケットボール同好会	19	9	0	0	0	0	1	29
バドミントン同好会	34	20	32	24	0	0	20	130
バレーボール同好会	14	22	14	15	0	0	4	69
ハンドボール同好会	4	8	2	3	0	0	1	18
フェアリースキー部	4	6	4	7	0	0	5	26
ラクロス部	0	20	14	3	0	0	0	37
ワンダーフォーゲル部	10	8	6	0	0	0	0	24

三系のホームページは下記の通りです。

文化系サークル連合会

<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~bunsa/>

体育会

<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~taikukai/>

芸術系サークル連合会

<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~geisa/>

体育会医学支部	1年	2年	3年	4年	5年	6年	院他	合計
医学アイスホッケー部	14	5	10	4	2	0	0	35
医学アメリカンフットボール部	5	6	4	3	0	0	0	18
医学空手道部	9	6	5	13	4	1	0	38
医学剣道部	19	8	12	7	1	2	4	53
医学硬式庭球部	29	28	8	10	8	10	0	93
医学ゴルフ部	4	4	2	4	4	6	0	24
医学サッカー部	10	13	14	18	7	5	1	68
医学柔道部	1	0	0	0	1	1	0	3
医学準硬式野球部	5	1	12	6	5	0	0	29
医学水泳部	14	12	9	16	2	4	20	77
医学スキー部	4	5	7	3	3	2	0	24
医学ソフトテニス部	6	20	14	2	1	0	0	43
医学卓球部	19	25	4	6	4	3	0	61
医学バスケットボール部	9	13	10	6	5	0	0	43
医学バドミントン部	14	13	12	17	5	2	0	63
医学バレーボール部	17	10	13	9	3	2	0	54
医学ハンドボール部	13	15	16	13	3	3	0	63
医学ヨット部	9	6	4	8	3	0	0	30
医学ラグビー部	15	9	7	7	6	0	2	46
医学陸上競技部	9	5	8	7	3	1	0	33

芸術系サークル連合会	1年	2年	3年	4年	5年	6年	院他	合計
アカベラサークルDoo-Wop	32	19	18	26	0	0	8	103
E.L.L.(筑波軽音楽協会)	21	24	17	7	0	0	3	72
合唱団むくどり	10	9	0	0	0	0	0	19
管弦楽団	39	40	35	33	0	0	6	153
ギター・マンドリン部	11	6	2	0	0	0	0	19
劇団竹蜻蛉	2	7	2	0	0	0	0	11
劇団筑波小劇場	10	10	9	12	0	0	2	43
混声合唱団	24	36	0	0	0	0	0	60
写真部	3	4	9	1	0	0	3	20
JAZZ愛好会	24	13	16	14	0	0	6	73
書道部	5	4	6	0	0	0	3	18
吹奏楽団	35	35	33	22	0	0	0	125
津軽三味線倶楽部無絃塾	17	8	15	7	0	1	11	59
筑波音楽協会	21	11	20	23	0	0	9	84
筑波能・狂言研究会	0	4	1	4	0	0	0	9
つくばフォーク村	23	16	0	0	0	0	0	39
筑波放送協会(THK)	8	15	0	0	0	0	0	23
ときめき太鼓塾	11	3	9	0	0	0	0	23
人形劇団NEU	2	0	3	0	0	0	0	5
ピアノ愛好会	17	7	5	0	0	0	0	29
フォルクローレ愛好会	5	16	6	1	0	0	0	28
舞踏研究会	36	19	28	21	0	0	2	106
ブロックフレーテ同好会	3	4	6	0	0	0	0	13
邦楽部	7	8	3	6	0	0	2	26
焼き物をつくる会	8	7	6	3	0	0	3	27
落語研究会	7	2	3	6	0	0	4	22
ミュージカル集団 ESSASSA	12	10	6	6	0	0	0	34
フォルクローレサークル南	6	10	7	2	0	0	0	25



課外活動団体リーダー研修会より

学生相談室から

不安の時代

臨床医学系精神医学 堀 正士

不安とは、これから起こる事態に対する漠然とした恐れから、気分の落ち着かないことをさします。この感情は抑うつと並んで人間にとってごくありふれたものだと言えます。いったい不安とは人間にとってどのような意味のある現象なのでしょう？

不安は動物にとって自己の危険な状況を察知させる信号であるという考え方があります。確かに、不安に際して種々の自律神経系を介してもたらされる生理的反応が起こります。たとえば、心拍数の増加、血圧上昇、発汗、筋肉の緊張、瞳孔散大などがそれにあたります。これらは、その動物が不安の対象に対して戦闘あるいは逃避体制をとるために好都合な身体反応です。なぜなら、その動物の知覚を鋭敏に変化させ、能力を最大限に発揮させるからです。

さて、現代は「不安の時代」と呼ばれます。その背景には、産業構造の変化があるという人もいれば、景気の問題があるという人もいます。はたまた少子高齢化社会が問題であると

受付窓口

029-853-2415

電話相談

029-853-2406

という意見も。これらはすべて将来への不安を引き起こす外的な要因です。しかし、何よりも私たち人間の不安への耐性が衰えてきているのではないのでしょうか？

不安の大きさは、個人の不安の感じやすさに比例し、個人の対処能力や周囲の支援の大きさに反比例する関数であると考えられます。あるストレスに対処する方法が不足していると不安は増大します。不安が高まり続けるといつかは精神的破綻を来してしまうと考えられますが、実際はそこに至るまでの過程で有効な対処方法を自ら習得し、不安は徐々に軽快していくと考えられます。この過程全体が個人のパーソナリティの成長につながっていきます。しかし、診療を通し昨今の若者を見ていて感じるのは、人生の上で十分な不安にさらされ続けることが少なくなっているのではないかとということです。成長の過程で乗り切らねばならないストレスに対し周囲が容易に肩代わりをしてしまう現在、若者のパーソナリティは十分に成長しきれず、結果的に種々のパーソナリティ障害を背景とする不適応を次々に生んでいるのではないかと思われま

新入生歓迎特集

ようこそつくばへ～筑波大学周辺マップ～

これから筑波大学へ入学する皆さん。ようこそ筑波研究学園都市へ。かつては「陸の孤島」と呼ばれたこの街も、TXが開業した現在、秋葉原から最短 45 分となりました。

今回、大学周辺の各地域の特徴を地図とともに掲載しました。新生活を迎えるにあたり、参考にして頂けたら幸いです。

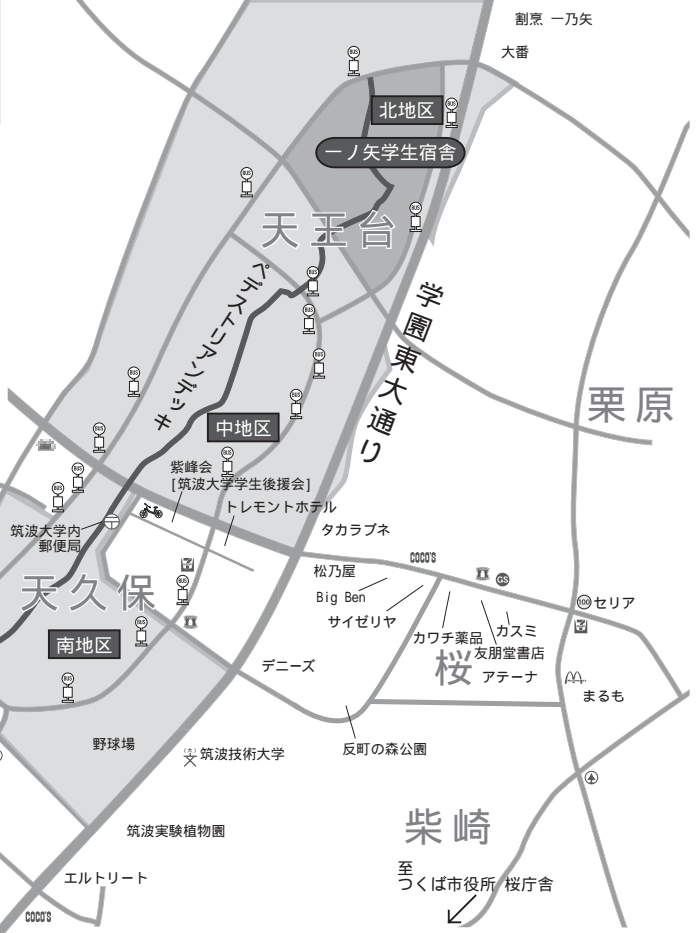
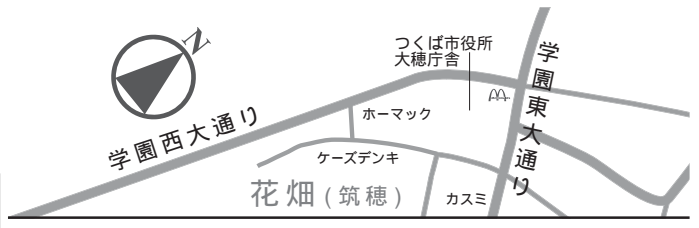
花畑

一の矢宿舎の北側にある閑静な地域。中心地から離れており、家賃も比較的安い。静かな環境を求めて住む人も多い。少し北の筑穂には、スーパーや電気店、ホームセンターなどがあり、生活に必要な物は一通り揃えることができる。

春日

アパートが多い住宅街である。大学から向かうには平砂宿舎から伸びるトンネル（通称：平砂トンネル）を抜けるか、カフェジャーナルの角に入る道が主な選択肢になる。物静かで落ち着いた地域で、飲食店やコンビニはあるものの、スーパーはなく、買い物には不便な面も。

最も北東にあるのが4丁目。西大通りを挟んで西側が3丁目、大学病院より南側に1丁目と2丁目がある。



ペDESTリアンデッキ (歩行者・自転車専用道路)
 大学内の地区
 学生宿舎

桜
 カスミ、カワチなどのスーパーやドラッグストアが多く、日常の買い物には便利な場所だ。またファミリーレストランも多い。道も明るくにぎやかである。比較的大学から近くアパートも多い。ただ、社会人も多く住んでおり、家賃は比較的高め。一戸建ての家も多い。

天久保
 春日と並んでアパートが多く、学生街のイメージが強い。1丁目は飲み屋が多くてにぎやかだ。2丁目には平砂・追越宿舎があり、アパートも多い。3丁目は南地区や中地区に近い。家賃はピンキリ。東大通りの東側が4丁目。大学から少し離れる分家賃も抑えめ。ただし街灯が少なく夜道は暗い。

吾妻
 学園都市の中心。駅近くにはジャスコや西武百貨店など様々な店があるショッピングモールのクレオスクエアがある。また、図書館や美術館、警察署などの公共機関、銀行などもある。バスターミナルからは大学や土浦駅など各方面行きのバスが発着する。ペDESTリアンデッキ横にあるエキスポセンターのロケットは目印にしやすい。

第58回紫峰会理事会報告

2月10日、1C302教室で第58回紫峰会理事会が開催された。以下の議題について審議・報告が行われた。概要は次の通り。

平成19年度事業計画書案及び収支予算書承認の件(審議)
 事業方針として(1)広報・渉外活動を充実させ、課外活動・学生生活の安定・発展を促しつつ、学生支援の輪の強化・拡大を図る。(2)大学や学生生活に係る情報やグッズなどの流通と高品質化を図ることによって、学生及び関係者の大学への帰属意識や相互の連帯意識を高めるとともに、事業の安定化を目指す。(3)大学と紫峰会の連携のあり方についての大学側の意向を受けて、筑波大学との連携を強化するとともに、信頼される契約主体たるにふさわしい組織形態とする。(4)学生・卒業生・保護者等についての個人情報を大学と紫峰会とで共有するための契約を取り交わすとともに、対象者データベースの充実を図る。(5)学内における紫峰会の周知など紫峰会PR活動について大学側と連携を深めつつ、効果的な入会案内を行い、父母等加入率の向上を図る。また大学院生向けサービスの向上について検討を進めるとともに、大学院父母の加入率の向上に努める。(6)紫峰会事務所の学内移転に向けて、大学側と調整・協議をすすめる。具体的には、紫峰会が法人化することで大学及び地域企業との契約において、信頼される契約主体となりうるよう、大学側と協議を進める。その協議と並んで、大学との個人情報の共同利用及び紫峰会事務所の学内移転を進める。また、会費収入を向上させるため、入会案内に学長の挨拶を入れたり、新しく学群生向けと大学院生向けの二通りの案内を作成したりする。特に、大学院生へのサービスを充実させる。

予算書案は9事業分野毎に見積を立てた。収入の部では、会費収入は大学院生への入会促進を図ることで前年度より427万円多い7,062万円、事業収入はUTcollectionの販売強化による売り上げ増加などのため前年度より886万円多い5,933万円となる、計13,075万円の収入を見込んでいる。また、支出の部では、什器や備品の購入を抑え、業務の効率化を進めることで経費削減を図り、予備費を714万円確保した上で、計12,974万円の支出を見込んでいる。

平成19年度役員承認の件(審議)

現役員のうち、浅井監事が筑波研修センター所長を定年退職することに伴い、退任することとなった。後任には筑波大学学生宿舎管理事務所所長の高野大二郎理事を充て、新筑波研修センター所長を理事に充てることを確認した。新理事に体育会医学支部推薦の平野信之氏が選任された。

平成18年度課外活動団体援助金系別配分額案承認の件(審議)

特別援助金を除く課外活動団体援助金は1600万円。うち日常活動経費に対する一般援助金が640万円、宿泊交通費に対する遠征援助金が960万円で、各団体からの収支計算書に基づき、学生財務会議(文サ連、芸サ連、体育会、全代会の財務会議担当者で構成)においてまとめられた。一方で、会費収入が予算よりも少ないこともあり、援助金総額を50万円ずつ減額された配分額別案も1400万円まで作成さ

れた。今後の収支状況の経過により、事務局にて援助金総額をどの程度にするのか一任された。

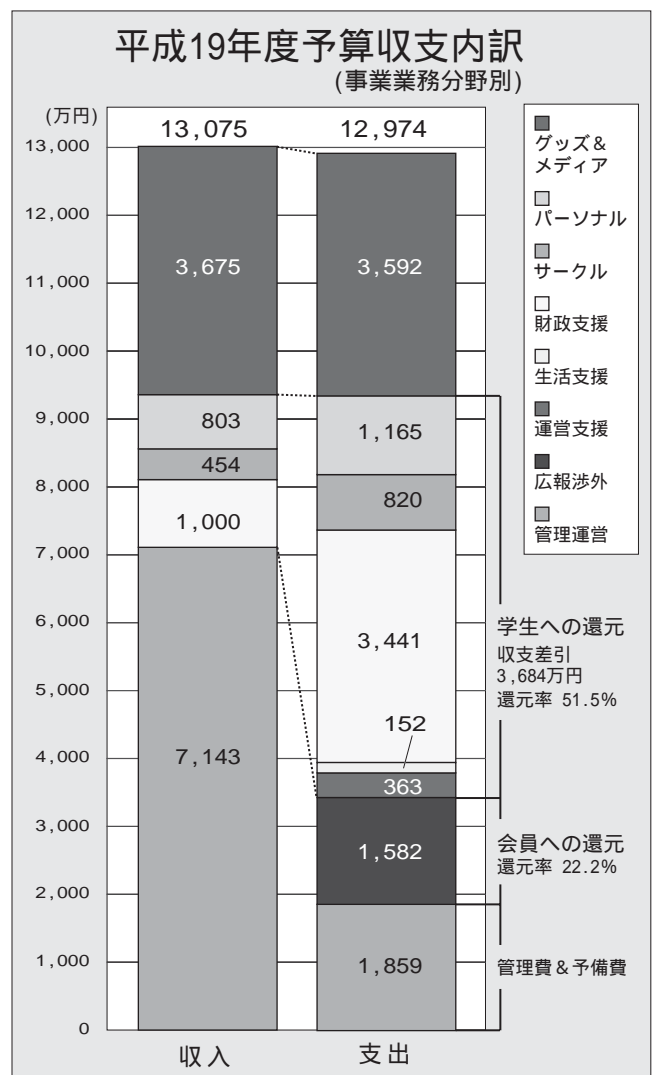
平成18年度父母等入会状況(報告)

平成18年度入学者の学群学生の父母等及び大学院学生の父母等の入会状況について、事務局より説明があった。次年度の入会率向上を図るため、入会キャンペーンや新生への紫峰会の説明の実施、大学院生向けサービスの充実等、入会率向上への施策を行うことが確認された。

紫峰会 - 筑波大学連携ワーキンググループについて(審議)

第57回理事会以降、紫峰会の法人化について大学側と協議を行うワーキンググループが行われ、この中で大学との関係、個人情報の共同利用、校章の使用、紫峰会事務所学内移転、PR活動等の連携、法人の形態等について話し合われたことが報告された。今後も大学側との協議を進め、早期の法人化を目指すことが確認された。

理事会終了後、紫峰会役員・顧問・学生組織役員・紫峰会スタッフなどを交えた懇親会が行われた。



サークルのページ



東医体の試合直後に軽井沢にて

医学アイスホッケー部

みなさんはアイスホッケーをご存知ですか？アイスホッケーは日本ではあまりメジャーなスポーツではありませんが、アメリカでは4大スポーツに入るほど人気があります。アイスホッケーには、めまぐるしく変わる攻守など他の球技には見られないスピード感があり、とても楽しいスポーツです。

部員はみな大学から始めたばかりの初心者で、監督・コーチもいないので、みんなで力を合わせてチームを作っています。さらにマネージャーも積極的にチームに参加していて監督・コーチがいない分、客観的にチームに助言をしてくれています。部活以外にも仲がよく12月の大会を目標に日々楽しく練習に励んでいます。

(寄稿/医学アイスホッケー部 関野雄太・医学2年)



練習前に気を込めて

ゴルフ部

昨年、関東学生ゴルフ春季Eブロック対抗戦で初優勝をなし遂げ、秋季Dブロックに挑戦しました。しかし、試合で思わぬアクシデントが多発し、Eブロック降格となりました。現在、あの悔しさをバネにして、新チームで春季はEブロック優勝、秋季はDブロックで前年以上の結果を残すことを目標にチーム一丸となっています。

部員は約20人、様々な学類から集まっています。少人数だからこそできる活動の中で、相互の連帯感を深め、ゴルフの本質であるルール・マナー・エチケットの体得を前提に競技力の向上を目指しています。そして、練習させて頂いているゴルフ場・練習場に感謝しながら学生ゴルファーらしく日々活動しています。(寄稿/ゴルフ部主将 野中隆伸・人間2年)



インカレ表彰式後の集合写真

女子バレーボール部

私たちは、週6日、球技体育館で練習に取り組んでいます。12月に行われた全日本インカレで4年生が引退し、3年生以下のメンバーで新たなスタートを切りました。一人一人が高い意識を持ち、技術だけではなく、人間的にも成長できるように取り組んでいます。

今年は「拮華微笑(ねげみしょう)」と「確固不拔」を目標に掲げ、昨年は獲得できなかったタイトルを多くを勝ち取れるよう、技術練習から、体力トレーニングまで幅広く練習しています。4、5月に行われる春季リーグ戦、6月末の東日本インカレ、8月に行われる東西インカレ、9、10月にかけて行われる秋季リーグ戦、そして12月の全日本インカレの5大会で優勝を目指し、チーム一丸となって頑張ります。(寄稿/女子バレーボール部主務 村井菜月・体育3年)



リーグ優勝後の集合写真

硬式野球部

2006年秋、私たち硬式野球部は10年ぶりのリーグ優勝と明治神宮野球大会出場を果たすことができました。歴代の先輩方が積み重ねて今日に残してくれたものがついに実を結び、本当に充実した一年となりました。

新チームのスローガンは「全員野球」。選手、スタッフなど様々な役割を担う部員を抱えるからこそ、その一人一人が自分の役割を自覚し責任を持って果たすことで、今度こそ日本一の栄冠をつかもうという意味を込めています。前チームでの経験は大変貴重で大きな刺激となりましたが、私たちの目標は常に「大学日本一」なので、まだゴールに達したとは思いません。硬式野球部はこれからも、枠にとらわれない進化を続ける集団でありたいと思います。

(寄稿/硬式野球部マネージャー 野元百合香・資源2年)



会員が製作した着ぐるみ

SF研究会アルビレオ

SF研究会アルビレオは、主にSF及びその周辺ジャンルの作品の創作や鑑賞、批評を行っているサークルです。週2回のミーティングに加え、随時会員有志が持ち寄った映画やアニメ、小説の鑑賞会を行っています。

また会員の創作物を、内部で不定期に発行している会誌「Hotline」と、年に1回印刷業者に依頼し発行している対外会誌「Cygnet」に掲載し、学園祭である雙峰祭や同人誌即売会コミックマーケットにて発表しています。いずれの活動においてもその取り扱うジャンルは幅広く、最近では着ぐるみやゲームの製作を始めるなど、枠にはまらない柔軟な発想で多岐にわたる活動を行い、常に新しいものに挑戦し続けています。

(寄稿 / SF研究会アルビレオ会長 小松崎洋志・生物2年)

体育会 主な試合結果

弓道部 11月4日 第38回関東学生弓道選手権大会リーグ戦決勝大会(女子)団体戦3位
柔道部 11月18、19日 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 48kg以下級準優勝 福見友子 同3位 伊部尚子 60kg以下級3位 平岡拓晃
体操部 11月1～5日 Thailand Aerobics Open World Series エアロピクス 男子シングル部門3位 諏訪部和也 11月18、19日 12回全日本ラート競技選手権大会 個人戦男子総合8位 古屋欽司 男子直転4位 古屋欽司 同8位 江塚和哉 男子斜転6位 小山信博 女子総合優勝 檜皮貴子 同2位 吉田望 同3位 平倉朝映子 同5位 森口更紗 女子直転優勝 檜皮貴子 同2位 吉田望 同3位 平倉朝映子 同5位 森口更紗 同7位 池田麻里 女子斜転優勝 檜皮貴子 同2位 平倉朝映子 同4位 吉田望 同8位 森口更紗 女子跳躍優勝 檜皮貴子 同3位 池田麻里 同3位 森口更紗 同6位 吉田望 12月3日 第6回ちやれんGボール大会 GボールシンクロナイズドGボール審査員特別賞(優勝)・MVP賞 森口・宮尾ペア 同審査員特別賞(2位) 吉田・池田ペア 同審査員特別賞(3位) 高橋・川村ペア 12月3日 第6回全日本学生エアロピクス選手権大会 エアロピクス男子シングル優勝 諏訪部和也
卓球部 11月15、16日 平成18年度会長杯争奪卓球大会 男子シングルス2位 安達健佑 12月3日 第3回全日本学生選抜卓球大会 女子シングルスベスト8 12月9日 平成18年度東京選手権ダブルス予選 男子ダブルス1位 安達健佑・照井雄太 同2位 桑原元希・高木和法 同ベ



2005年度の卒業公演「はなえみ」より

筑波能・狂言研究会

筑波能・狂言研究会は、能や狂言を実際に「演じる」ことを通し、日本の古典芸能の世界を少し覗いてみよう、というサークルです。プロの能楽師・狂言師の方から稽古を付けて頂き、その結果を年3回の公演などで発表しています。

公演ではプロの舞台上で実際に使う衣装をお借りするなど、本格的です。それ以外にも小鼓や笛などのお囃子を習ったり、観劇に行くなど、普段ではあまり触れることのない伝統文化の世界を体験します。他にも礼儀作法や着付け、日本の古典的な笑いなど、多くを学べます。せっかく日本に住んでいるのに、知らないままでは勿体ないと思いませんか? 能や狂言は観るだけでも楽しいものですが、自ら演じることで更に理解が深まり、観たときの楽しさが何倍にもなります。

(寄稿 / 筑波能・狂言研究会部長 松本千裕・日2年)

スト8 乾大樹・須田昌彦 女子ダブルス3位 中村郁美・野中由紀 同ベスト8 山梨以織・佐々木未央 ベスト8
バドミントン部 11月14～19日 第60回全日本総合バドミントン選手権大会 女子シングルス5位 村松瑞穂 12月9、10日 第42回全関東教育系大学学生バドミントン選手権大会 男子シングルス5位 福井啓仁
ライフセービング部 12月2、3日 第19回全日本ライフセービング室内選手権大会 男子50m マネキンキャリアー7位 寺村泰介 女子100m マネキンキャリアー6位 齊藤愛子 同8位 宮澤麗 男子100m マネキンキャリアー3位 松本剛 同4位 泉野拓児 同8位 山口夏海 女子100m マネキントゥー with フィン8位 山田桃子 男子100m マネキントゥー with フィン3位 松本剛
ライフル射撃部 11月12日 北関東三県ライフル射撃競技大会 AR10mS60 4位 田邊翔司 同7位 長田光明 同8位 佐久間光秀 同9位 坂西隆之 AR10mP60 1位 佐久間光秀 AR10mS40 6位 寺崎遥 同7位 熊谷友美子
オリエンテーリング愛好会 11月12日 第32回東日本オリエンテーリング大会 個人戦 W20A3位 白形由貴
サッカー同好会 同26日 ウィークエンドカップ波崎 優勝
バドミントン同好会 11月23日 UBF ダブルス決勝大会 C ランクベスト8 Re: ナベロス(渡邊潤・村松悠輝ペア) 同ベスト4 プリヤん(岡本賢治・鈴木祐也ペア)
ダンス部 12月22日 第49回関東学生舞踊連盟発表会 24、25日 全国教育大学協会全国創作舞踊研究発表会

サークルのページ



1、2 年生による山行（金峰・水蝸山にて）

山岳旅の会

わたしたちは「行きたい人が、行きたい時に、行きたい所へ」を基本的なコンセプトとして活動をしています。毎週ミーティングを行い、主に休日を利用して山行へ出かけています。ミーティングでは、山行計画書に会員全員が目を通し、安全面を確認する審査という作業を行っています。登山は当然危険が伴うスポーツなので、この審査という作業は欠かせません。その他にも、会員の親睦を深めるために、登山以外の活動も企画して行っています。山行は関東付近の山々をはじめとして、長期休暇中は日本アルプスへ出かけます。

つくばでの大学生生活、日常生活では味わうことの出来ない自然の雄大さ、豊かさを、会員全員が山行を通じて楽しんでいます。（寄稿 / 山岳旅の会会長 高井一成・生物 2 年）

児童文学研究会・北

「児童文学研究会・北」は、児童文学を愛好する会員たちが集い、活動しています。しかし一口に愛好と言っても、コアなファンから初心者まで様々です。

「児童文学研究会・北」では毎週月曜日にミーティングを行い、年に 3 回、会員の作品を収録した会誌『ほうきぼし』を発行しています。児童文学のサークルですが執筆作品のジャンルに制限はなく、会員が書きたいと思ったものを自由に書くことができます。普段のミーティングでは会員の作品の批評会や今後の話し合いをするのですが、堅苦しい雰囲気はありません。また定期的にお茶会を開いて DVD を鑑賞することもあり、サークル全体の雰囲気は和やかです。

学園祭では屋内企画と屋外企画の二つを行っています。屋内企画では会誌『ほうきぼし』やオリジナル絵本の展示・配布を行い、多くの方に会員独自の世界に触れて頂いています。その年ごとに何か特別企画を設けることもあり、今年の『ほうきぼし』は「魔法使い」をテーマにした特集コーナーを作って、会員の作品とともに既成作品の書評も掲載しました。屋外企画では「鈴星屋」という名前で駄菓子・玩具の販売や射的を行っており、毎年小さなお子様方に好評を頂いています。他にも、10 月に竹園児童館で開かれる児童館祭に参加しています。

会誌はサークル発足以来発行され続け、現在 107 号を製作中です。今後もそれぞれの胸にある作品への思いを大事にしながら、活動に励んでいきたいと思えます。

（寄稿 / 児童文学研究会・北会長 古木友子・情報 2 年）



プロムナードコンサートのリハーサルにて

筑波大学管弦楽団

私達は、開学当初の 1974 年から創団に向けた動きがあり、現在は団員数が 150 名を越える有数の規模のサークルです。

活動の中心は春秋に行う定期演奏会で、週 3 回の練習や合宿は、主にこの定期演奏会に向けて取り組んでいます。また 1 月に 1 年生が演奏の中心となるプロムナードコンサートや、その他にも小学校を訪問しての依頼演奏、各パートによるアンサンブルコンサートなど様々な活動を行っています。

構成員は楽器の経験者ばかりでなく、大学から音楽を始めた者も多数います。しかし、初心者は経験者より上手になると一生懸命練習し、また経験者もそれに負けじと努力するので、互いに切磋琢磨しながら強い向上心をもって練習に臨んでいます。（寄稿 / 筑波大学管弦楽団 小島直己・社会 2 年）



公演の様子

人形劇団 NEU

私たちは団員 5 人のサークルです。OB・OG など色々な人の力を借りながら、全員で力を合わせて人形劇の制作、公演を行っています。公演は 5 月のつくば芸術祭、8 月のいいだ人形劇フェスタ、10 月の学園祭、3 月の卒業公演や子供会などからの依頼公演など、年 6 回程です。8 月に長野県飯田市で開催される「いいだ人形劇フェスタ」は日本最大の人形劇の祭典で、これに出演することが毎年の目標です。

サークル名の「NEU」とはドイツ語で「新しい」という意味です。私たちの創る劇は、保育系よりも「芸術系」の色が濃い作風。表現媒介を人形に限定せず、人間劇や影絵、プロジェクターによる映像投影などの技法も取り入れて、サークルの名に素直な新しい人形劇の制作を目指しています。

（寄稿 / 人形劇団 NEU 責任者 中山貴雄・人間 3 年）

全大会のページ



全大会・副学長等との懇談会の模様



2006年のやどかり祭で最優秀賞に輝いたみこし

全大会活動報告

全大会では2006年12月13日、副学長等との懇談会を開催し、宿舎の環境改善（職員の対応や水漏れ、ゴミ捨て場の獣害などの設備不良の対策）などの要望を出しました。

このほか、11月末より学内の自転車環境を向上させるべく教員や施設部と合同でワーキンググループを結成、検討を進めています。同様に、来年度以降に予定している宿舎の大規模改修と料金改定の検討も大学と共同で進めています。この中で共益費の用途などについても検討しております。

全大会の活動は(<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk>)からご覧頂けます。活動報告や今後の予定のほか、広報誌「Campus」も公開しています。ぜひご活用下さい。(寄稿/全学学類・専門学群代表者会議議長 小林敬介・工シス3年)

国際総合学類

国際総合学類は、自分を探し、自分を磨くための最高の舞台です。実に多岐に渡る学問領域を包括しています。自分とは違う方面に興味・知識をもつ多くの友人と出会い、自分とは違うものの見方や考え方に触れ、多くの刺激を受けます。ここで学ぶことは、海図と羅針盤なしで大海原にひとり漕ぎ出すようなもので、学ぶ中で自分の進路に自信がなくなることもあります。

それでもこの学類には、この海の広大さに驚き戸惑いながらも、自分なりに漠然とした海を泳ぎきろうと努力している人が多くいます。これからこの学類で学ぶ方には、是非そんな人たちと出会い、交わり、自分を高めていってほしいと思います。(寄稿/国際総合学類 菊池徹・国際2年)



留学生パーティーの様子



2006年のやどかり祭でのみこしのパフォーマンス

日本語・日本文化学類

日本語・日本文化学類(以下日・日)では、2006年10月に毎年恒例となっている留学生パーティーを開催しました。クラスの代表者らが作ったおでんやおにぎりをつまみつつ、筑波大学についてのクイズを行い、学類生、教職員と親睦を深めました。

12月には日・日棟であるG棟の大掃除をし、今まであまりできなかった所まで、みんなで協力して綺麗にしました。最近では、1年生が主体となり、来年度の新歓活動も始まりました。3年生は就職活動、4年生は卒業論文があり、先輩から色々話を聞くようになりました。2年である私は、少し焦りを感じてしまう日々です。上級生の話を聞き、いろいろ吸収して、新しい学年を迎えたいと思う今日この頃です。(寄稿/日本語・日本文化学類座長 木曾川真紀子・日日2年)

社会学類

社会学類には、社会学・法学・政治学・経済学の4つの主専攻があります。3年次より各専攻に分かれ、それぞれの方針を学んでいくことになります。

学類では、数多くのイベントに活発に取り組んでいます。筑波大学学園祭「雙峰祭」や宿舍祭には、毎年有志を中心に積極的に参加しています。特に新歓活動や夏の学類説明会などは、多くの協力者によって成り立っています。また昨年はクラス代表者会議による進学説明会と就職懇談会を開催しました。これは筑波大学大学院への進学や、企業・公務員への就職が内定した先輩方にお話を伺うもので、大変好評でした。

このような活動が出来るのは、社会学類生の意識が一丸となっている証であると思います。

(寄稿/社会学類座長 増田和生・社会1年)

卒業式・大学院学位記授与式のご案内

筑波大学卒業式(学類・専門学群)

3月23日(金) 会場: 大学会館講堂

入場: 9:20 ~ 9:45 開始: 10:00

ご父母等の方々にはモニターにより式の模様をご覧頂けるよう、別室が設けられる予定です。

お問い合わせ 学務課 029-853-2202

筑波大学大学院学位記授与式(修士・博士)

3月23日(金) 会場: 大学会館講堂

入場: 12:00 ~ 12:50 開始: 13:20

ご父母等の方々にはモニターにより式の模様をご覧頂けるよう、別室が設けられる予定です。

お問い合わせ 大学院課 029-853-2236

平成19年度入学式のご案内

筑波大学入学式(学類・専門学群)

4月9日(月) 会場: 大学会館講堂

入場: 9:00 ~ 9:45 開始: 10:00(予定)

式終了後は新入生オリエンテーション及び、三系(文化系サークル連合会、体育会、芸術系サークル連合会)主催による新入生歓迎祭が行われます。数多くのサークルによるステージや歓迎、教室での説明会が新入生を待っています。

ご父母等の方々は、式場に入れません。式の模様はモニターでご覧頂く予定です。

お問い合わせ 学務課 029-853-2202

筑波大学大学院入学式(修士・博士)

4月9日(月) 会場: 大学会館講堂

入場: 13:00 ~ 13:50 開始: 14:15

ご父母等の方々は、式場に入れません。式の模様はモニターでご覧頂く予定です。

お問い合わせ 大学院課 029-853-2236

なお、駐車場は非常に数が限られておりますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。やむを得ずお車でご来場される際は「案内センター」の案内に従って下さい。

式の模様は、筑波大学HP(<http://www.tsukuba.ac.jp>)からもご覧いただけます。是非ご利用下さい。

宿泊施設・館内食堂のご案内

紫峰会会員の方は1泊200円割引します

筑波研修センター ・1泊3600円より(食事別)
・シングル145室・ツイン5室・和室5室

筑波大学同窓会「茗茶会」が設立した「筑波学都資金財団」の運営する宿泊施設です。電話予約は7時から24時まで受け付けています。会員の方は予約受付の時にお申し出下さい。

館内食堂 こうせい ・朝食400円均一
・定食580円より

バイク形式、懇親会、パーティも承ります。内容、料金など気軽にご相談ください。(座席80名・立食100名まで)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5
Tel 029-851-5152 Fax 029-851-8886
E-mail center@meikei.or.jp
URL <http://www.meikei.or.jp/~center/>

会費・寄付金随時受け付け致しております。

郵便振替 口座番号 00310-6-17770 加入者名 紫峰会[筑波大学学生後援会]

年会費(一口1000円) 学生父母等 8口以上 卒業生 2口以上 学内教職員 1口以上 一般賛助 2口以上

第23回つくば芸術祭

主催: 芸術系
サークル連合会

テーマ『芸術日和』

開催期間: 5月3 ~ 6日 会場: つくばセンター周辺

つくば芸術祭は、学生と地域の方々との交流を主な目的として毎年この時期に開催しています。個性豊かな面々が一同に会し、日頃の活動を披露しています。本年も多くの市民、学生の皆さんにとって良き交流の場となるよう、実行委員会や各サークルで準備を進めています。

今年のテーマは「芸術日和」。これは参加者だけでなく、来場する皆様にとっても芸術に触れるにふさわしい気候、機会となればという私たちの想いを込めています。皆様に見て頂くものは芸術という畏まったものである前に、私たち学生のサークル活動であり声であり、姿です。同じ時間を共有することで、芸術を少しでも身近に感じて頂ければと思います。是非、私たちの日々の努力をご覧ください。皆様のご来場を一同心よりお待ち申し上げます。

【新緑茶会】6日 12:00 ~ 16:00 場所: さくら民家園

内容: 茶会、邦楽演奏会 出演: 邦楽部、茶道部和敬清寂社

【SPRING LIVE2007】5、6日 13:00 ~ 17:00 場所:

つくばセンター広場アイアイモール前モニュメントプラザ

内容: アカベラ、軽音楽、ジャズ、津軽三味線、和太鼓等の

演奏及びコラボレーション 出演: アカベラサークル Doo-

Wop、E.L.L.(筑波軽音楽協会)、JAZZ 愛好会、吹奏楽団、

津軽三味線倶楽部無絃塾、筑波音楽協会、つくばフォーク村、

ときめき太鼓塾、HIGHJINKS WIND ORCHESTRA、はら

べこ音楽隊、あごひげ(吹奏楽団)

【Green Concert2007】4 ~ 6日 13:00 ~ 17:00 場所:

アルスホール 内容: 管弦楽、ギター、マンドリン、リコー

ダーの演奏、落語会、ピアノ、南米民族音楽の演奏、人形劇

出演: 管弦楽団、ギター・マンドリン部、ブロックフレー

テ同好会、落語研究会、ピアノ愛好会、フォルクローレサー

クル南、人形劇団 NEU

【展示企画】3 ~ 6日 10:00 ~ 17:00 場所: 市民ギャ

ラリー 内容: 書道・華道・写真・漫画・焼き物の作品展示

団体: 書道部、華道部、写真部さくら組、焼き物をつくる会、

漫画研究会

この他の主な予定(変更になる場合があります)

第3学期授業終了	2月28日
第3学期期末試験	3月1日~7日
春季休業	3月8日~4月7日
宿舍入居 平砂・追越	4月5、6日
一の矢・春日	4月7日
新入生オリエンテーション(学群)	4月9日~11日
新入生オリエンテーション(大学院)	4月9日
第1学期授業開始(大学院)	4月10日
第1学期授業開始(学群)	4月12日
紫峰会報第105号発行(予定)	4月25日
春季スポーツ・デー	5月19、20日
第33回宿舍祭(やどかり祭)	5月26、27日
前期授業料納付期日	5月31日